

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	木曾谷・郷土料理リデザイン&プロモーション事業
事業主体 (連絡先)	南木曾町役場もっと元気に戦略室 (電話: 0264-57-2001)
事業区分	⑥オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,864,739円 (うち支援金: 1,447,000円)

事業内容

南木曾町では地域おこし協力隊の活動として、郷土料理の再興、観光業(特にインバウンド)の振興に積極的に取り組んでいる。

具体的には、三留野・上の原地区の旧中山道(歴史の道)沿いの古民家を改修しゲストハウス(農家民宿)および和カフェの開業準備を現在進めている。

今回の申請内容はそうした取り組みと連携して実施されるものであり、衰退する郷土料理文化の革新とインバウンドも視野に入れた観光プロモーション活動を目的として、四季ごとのメニュー開発および映像やリーフレットの制作によるPR活動を実施した。



【夏メニュー盛り付け例】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 【一部達成】 四季ごとの料理メニューおよびドリンクメニュー3点については開発することができたが、原料の不作により加工食品の開発までには至らなかった。
- ② 【達成】 飲食拠点となる農家民宿で常時提供を実現し、平成29年8月の開業以来、欧米系を中心にのべ1,500人以上に飲食の提供を実施。
- ③ 【達成】 多言語による映像およびリーフレットを作成し、世界中に情報発信を行った。(Facebookにおいて映像再生は約5,000回、いいね!は500件以上を記録)

【目標・ねらい】

- ①現状の郷土料理をベースにしたカフェメニュー、加工商品の開発
- ②①で開発したカフェメニューを常時提供できる飲食拠点の整備
- ③世界中に情報発信できるWebサイト構築、リーフレット作成

※自己評価【B】

【理由】

概ね期待以上の成果をあげているが、加工商品の開発、販売には至ることができなかったため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今回達成することができなかった加工商品の開発および販売活動を行っていく予定。またさらなる魅力的なメニュー開発および提供拠点の充実を図っていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある